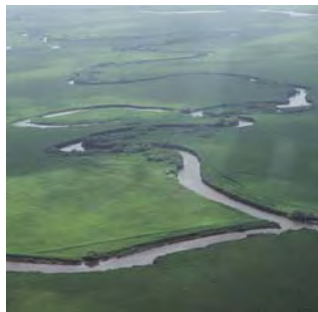


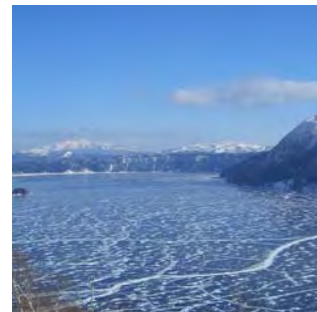
平成20年度 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ ルート活動報告



釧路湿原エリア



阿寒湖エリア



弟子屈エリア



中標津エリア

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成19年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄	報告年月: 2009/3/31
-----------------------------	-------------------------	-----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
1 地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり ＜知る・活かす＞	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カマ+重業「通年(一部冬期休業)」、スタンブラリー実施: 8月25日-10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	30人	KU-1	〇地域を知る・活かす(自然・景観・産業) 毎年恒例となっている沿道花壇への植栽、各種情報発信のほか、シーニックの森参加に向け「既存植樹活動への協力」を行った。また、道東ウォーキングツーリズム検討では、中標津エリアが中心となり、既存のフットパス等の散歩道のネットワークづくり、独自の市街地ウォーキングルート検討を行っている。「歩く」という新たな滞在型観光を顕在化するために、非常に有益な活動を行った。また、「温泉を知る・活かす」においては、シーニックカフェ内にある足湯のみの活動である。阿寒温泉や川湯温泉、摩周温泉等、本ルートには多彩な温泉資源があり、今後の活動展開を検討する必要がある。 〇食を知る・活かす 活動は、シーニックカフェルト連携実施に関するものがほとんどである。既存飲食店を活用した、情報発信を行っている。また、摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験連動企画としてオープンした「シーニックカフェ摩周」では、摩周産そば粉や小麦粉など、地元食材を積極的に活用したメニューが話題を読んだ。イベントではなく、継続的に、味わえるような工夫を行いたい。 〇文化や歴史を知る・活かす 昭和初期の写真を中心に展示する「懐かシーニックパネル展」の開催が中心である。本年度は、阿寒湖エリアのシーニックカフェパン・デ・パンにおいて、開催された。パン・デ・パン及び、鶴雅グループが所蔵する“懐かしいもの”と一緒に展示され、新たな展示形態での実施が行われた。ホテル等からも、写真展開催への申し出があることから、今後は、一般向けに貸し出しを行う体制を整えたい。
		★2	既存植樹活動への協力	北海道、弟子屈町、釧路東ロータリークラブ	平成20年5月17日、5月25日、5月28日	3040人		
		3	沿道花壇への植栽	阿寒町花いっぱい運動推進協議会、阿寒湖道東連合町内会、NPO法人阿寒観光協会まつり機構、弟子屈町自治会連合会、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、中標津町商工会女性部、株式会社日専連中標津 青年会、標茶町虹町市街町内会	平成20年6月6日、6月15日、6月21日、6月24日、6月25日	1433人		
		4	ルートマガジンの発行(年2回)	情報広報部会	年2回発行	各5000部		
		5	ルートHPを活用した全国的一般ユーザーとの双方向交流	情報広報部会	通年	月間平均6000アクセス	KU-2	
		6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成20年6月29日	52人	KU-4	
		7	道東ウォーキングツーリズム推進検討	中標津町商工会 青年部	ウォーキングイベントの企画試行6月22日、フットパス先着事例調査7月27日-10月25日、検討会2月9日-2月19日	15人	KU-3	
		★2	既存植樹活動への協力	北海道、弟子屈町、釧路東ロータリークラブ	平成20年5月17日、5月25日、5月28日	3040人		
		★8	弟子屈滝探検・摩周岳登山	ルート運営委員会	平成20年10月11日、10月19日	7人		
		1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)ーシーニックカフェ「Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	平成20年4月28日～11月3日	月100人	KU-1	
	2) 食を知る・活かす	1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)ーシーニックカフェ「Pan de Pan」	パン・デ・パン	通年	月150人	KU-1	
		6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成20年6月29日	52人	KU-4	
		7	道東ウォーキングツーリズム推進検討	中標津町商工会 青年部	ウォーキングイベントの企画試行6月22日、フットパス先着事例調査7月27日-10月25日、検討会2月9日-2月19日	15人		
		1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カマ+重業「通年(一部冬期休業)」、スタンブラリー実施: 8月25日-10月31日、カフェミーティング実施: 5月12日、12月10日	30人	KU-1	
		9	シーニックカフェ開陽台牧場2008	中標津町商工会 青年部	平成20年7月24日～27日	600人		
		1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)ーシーニックカフェ「Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	平成20年4月28日～11月3日	月100人	KU-1	
		1	シーニックカフェ「Pan de Pan」	パン・デ・パン	通年	月150人	KU-1	
		1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)ーシーニックカフェ「レイクスバタかだ」	シーニックカフェ「レイクスバタかだ」	通年	月100人	KU-1	
		1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)ーシーニックカフェ「ジェラートシレットコ」	シーニックカフェ「ジェラートシレットコ」、中標津町商工会 青年部	通年	2000人	KU-1	
		1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)ーシーニックカフェ「カフェカイヨウダイ」	シーニックカフェ「カフェカイヨウダイ」、中標津町商工会 青年部	平成20年4月28日～10月31日	2500人	KU-1	
	3) 文化や歴史を知る・活かす	②新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験連動企画「シーニックカフェ摩周」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成20年8月25日～9月7日	800人	
		①地域の各種文化を知る・活かす	10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験連動企画「懐かシーニックパネル展」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成20年8月25日～9月7日	300人	
			11	懐かシーニックパネル展inパン・デ・パン	パン・デ・パン	平成21年2月1日～28日	150人	
		②地域の歴史を知る・活かす	10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験連動企画「懐かシーニックパネル展」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成20年8月25日～9月7日	300人	
			11	懐かシーニックパネル展inパン・デ・パン	パン・デ・パン	平成21年2月1日～28日	150人	

ルート(エリア)運営活動計画方針		ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
2 個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり ＜整える・つなぐ＞	1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	①沿道景観を整える	6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「阿寒湖エリア・幸運の森商店街清掃」	NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構	平成20年4月24日	50人	KU-4	〇地域と資源を繋ぐ“道(沿道景観)”を整える ・毎年恒例となっているリレー清掃であるが、本年度からは釧路湿原エリアでの開催もあり、4エリア全てのリレー清掃が実施された。単に沿道景観を整えるだけの目的ではなく、相互に協力し連携しあうことで、エリア間でのコミュニケーションに繋がっており、活動メンバーの精神的な繋がりを強くしている。 ・シーニックカフェでは、沿道景観に配慮した「花と緑のサイン」の製作検討が行われた。これは、カフェ統一のサインを設ける事によるシーニックカフェのブランド化に向けた第一段階でもあり、自然に配慮したサインの提言ともいえるものであり、今後のルート活動における影響は大きいだろう。
			6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「弟子屈エリア 摩周湖グリーンウオーク2008」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	平成20年6月7日	200人	KU-4	
			6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃・道東ウォーキングツーリズム推進検討「中標津エリア シーニックグリーンウオーク」	中標津町商工会青年部、中標津町商工会女性部、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	平成20年6月22日	30人	KU-3・4	
			6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア シーニックグリーンウオーク」	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	平成20年6月29日	52人	KU-4	
			1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)-沿道景観に配慮した「花と緑のサイン」の製作	シーニックカフェ5店舗(Pan de Pan、レイクス・オ・カド、Home Sweet Home、ジェラートシレット、カフェ・カイロウグイ)、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	カフェミーティング実施:5/12、12/10	11人	KU-1	
			12	沿道花壇への植栽	阿寒町花いっぱい運動推進協議会、阿寒湖温泉連合町内会、NPO法人阿寒観光協会まちづくり機構、弟子屈町自治会連合会、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、中標津町商工会女性部、株式会社日専連中標津 青年会、釧路市虹別市街町内会	平成20年6月6日、6月15日、6月21日、6月24日、6月25日	1433人		
		②物語のあるみちをつくる	10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験	摩周屈斜路社会実験協議会(弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町)	平成20年8月25日～9月7日	6000人		
			7	道東ウォーキングツーリズム推進検討	中標津町商工会青年部	ウォーキングイベントの企画試行6月22日、フットパス先達事例調査7月27日・10月25日、検討会2月9日・2月19日	15人	KU-3	
	2)観光客を受け入れる環境を整える	①おもてなしの質を整える	1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ重要:通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施:8月25日・10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	30人	KU-1	・また、中標津エリアが中心となり実施している「道東ウォーキングツーリズム推進検討」では、地域の歴史文化に配慮した市街地ウォーキングづくりが行われている。
			1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ重要:通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施:8月25日・10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	30人	KU-1	
	3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	9	シーニックカフェ開陽台牧場2008	中標津町商工会青年部	平成20年7月24日～27日	600人		〇観光客を受け入れる環境を整える ・シーニックカフェルト連携実施が該当する。ルート内の5つの既存店舗が連携し、定期的にミーティングを開催しながら、観光客の視点に立ち、自分達に何ができるかを検討し、実行に移している。今後、シーニックカフェで蓄積されたおもてなしのノウハウを、ルート内の他飲食店に波及させていくが課題である。 〇地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する ・各エリアでのモデルルート検討会では、エリア内での一泊二日の滞在ルートの検討とそれに必要な検討事項の整理が行われた。最終的に、ルート内での二泊三日の周遊ルート作成を行った。今後は、観光インフラの整備や情報発信手法の検討など、検討結果を様々な活動へ繋げていきたい。 〇各種情報を伝える・蓄える ・HPやルートマガジンによる情報発信などに加え、シーニックカフェにおいては、シーニックおもてなしブックの試行が行われた。これは、観光案内の虎の巻であり、カフェスタッフが、観光案内を行う際に使用するものである。カフェスタッフの教育にも活用され、単に観光案内だけではなく、今後は色々な使い方が考えられ、ルート全体のホスピタリティ向上へ繋げていきたい。 ・また、「道東3空港を活用した地域活性化検討委員会」では、ひがし北海道3空港の連携強化と今後の活性化策の検討がおこなわれ、連携イベントとして、釧路空港・女満別空港・根室中標津空港において、活性化イベントが行われた。ルートとしては、委員会メンバーとしての参加であったが、今後もこういった広域的な事業に積極的に参加し、シーニックバイウェイの利点を活かしていきたい。
			1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ重要:通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施:8月25日・10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	30人	KU-1	
			7	道東ウォーキングツーリズム推進検討	中標津町商工会青年部	ウォーキングイベントの企画試行6月22日、フットパス先達事例調査7月27日・10月25日、検討会2月9日・2月19日	15人	KU-3	
		②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	★13	釧路湿原エリア検討会(モデルルート検討)	釧路湿原エリア・ルート運営委員会	平成21年2月12日	6人		
			★14	弟子屈エリア検討会(モデルルート検討)	弟子屈エリア・ルート運営委員会	平成21年2月19日	13人		
			★15	阿寒湖エリア検討会(モデルルート検討)	阿寒湖エリア・ルート運営委員会	平成21年2月20日	9人		
			★16	中標津エリア検討会(モデルルート検討)	中標津エリア・ルート運営委員会	平成21年2月9日・20日	9人		
			★17	2泊3日滞在ルート検討	ルート運営委員会・各エリア	平成21年3月10日	18人		
	4)各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供	4	ルートマガジンの発行(年2回)	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、NPO法人阿寒観光協会まちづくり機構、(有)阿寒ネイチャーセンター、グリーンウオーク実行委員会、シーニックカフェ5店舗(Pan de Pan、レイクス・オ・カド、Home Sweet Home、ジェラートシレット、カフェ・カイロウグイ)	年2回発行	各5000部		
			5	ルートHPを活用した全国的一般ユーザーとの双方向交流	情報広報部会	通年	月間平均6000アクセス	KU-2	
			18	ルートHP内フォトライブラリーの運営	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	通年	月間平均6000アクセス		
			19	英語版ルートHPの運営	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	通年	月間平均6000アクセス		

ルート(エリア)運営活動計画方針		ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
2	個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり <整える・つなぐ>	②観光案内施設等による情報提供	1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ営業: 通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施: 8月25日-10月31日、カフェミートアップ実施: 5月12日、12月10日	30人	KU-1	
			★20	道東3空港を活用した地域活性化策検討委員会	道東3空港を活用した地域活性化策検討委員会(事務局: 国土交通省航空局)	会議: 平成21年2月21日 3空港連携イベント: 平成21年3月20日～22日	36人		
		③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験運動企画「シーニックカフェ摩周」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成20年8月25日～9月7日	800人		
			4	ルートマガジンの発行(年2回)	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、H20法人関係機関等会等づくり協議会、(社)阿寒ネイチャーセンター、グリーンワーク実行委員会、シーニックカフェ5店舗(Pan de Pan、レイクスバにかに、Home Sweet Home、ジエラントシント、カフェカイロイグアイ)	年2回発行	各5000部		
			5	ルートHPを活用した全国的一般ユーザーとの双方向交流	情報広報部会	通年	月間平均 6000アクセス	KU-2	
			18	ルートHP内フォトライブラリーの運営	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊	通年	月間平均 6000アクセス		
3	1) 自然と共に生きる意識を育てる	①地域(こども達)への環境教育	6	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	ボランティアネットワークチャレンジ隊	平成20年6月29日	52人	KU-4	○自然と共に生きる意識を育てる ・釧路湿原音探検&清掃では、小型集音機を使って、湿原を音から楽しみながら、子ども達に対する環境教育が行われた。 ・また、摩周ウィンターフェスタ2009においても、親子共同による雪像作りコンテストなどが行われ、寒い冬を楽しむイベントが開催された。 ・来訪者(観光客)へのインタープリテーションにおいては、摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験では、地域住民(ボランティアガイド)から、観光客に対して、弟子屈の歴史や成り立ちなどについての説明があった。道東ウォーキングツーリズム推進検討についても、中標津エリアの歴史や自然を配慮したウォーキングルートづくりが進められている。
			21	摩周ウィンターフェスタ2009	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成21年2月14-15日	2000人		
		②来訪者(観光客)へのインタープリテーション	10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験	摩周屈斜路社会実験実行委員会(弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町)	平成20年8月25日～9月7日	6000人		
			7	道東ウォーキングツーリズム推進検討	中標津町商工会青年部	ウォーキングイベントの企画試行6月22日、フットバス先導事例調査7月27日-10月25日、検討会2月9日-2月19日	15人	KU-3	
	2) 自然を保全・活用する仕組みを創る	①自然を守るルールをつくる	10	摩周屈斜路環境にやさしい観光交通実験	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会	平成20年8月25日～9月7日	6000人		
		②自然を保護・育成する仕組みをつくる	★2	既存植樹活動への協力	ボランティアネットワーク・チャレンジ隊、弟子屈町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部	平成20年5月17日、5月25日、5月28日	3040人		
	<創る・育てる>	3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)-シーニックカフェ「Home Sweet Home」	弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、ホームスイートホーム	平成20年4月28日～11月3日	月100人	KU-1	
			1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ営業: 通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施: 8月25日-10月31日、カフェミートアップ実施: 5月12日、12月10日	30人	KU-1	
			5	ルートHPを活用した全国的一般ユーザーとの双方向交流	情報広報部会	通年	月間平均 6000アクセス	KU-2	
			1	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	Clear Stream Scenic Cafeプロジェクト、シーニックカフェ	カフェ営業: 通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施: 8月25日-10月31日、カフェミートアップ実施: 5月12日、12月10日	30人	KU-1	
			7	道東ウォーキングツーリズム推進検討	中標津町商工会青年部	ウォーキングイベントの企画試行6月22日、フットバス先導事例調査7月27日-10月25日、検討会2月9日-2月19日	15人	KU-3	

※表中“★”はH20新規活動

シーニックカフェ連携（地域のおもてなし“拠点”づくり）

【概要】ルート内の既存飲食店を活用したシーニックカフェでは、シーニック情報、地域情報、観光案内などを積極的に行う「地域のおもてなし“拠点”づくり」を行っている。カフェスタッフミーティングを実施し訪問者の視点で、私たち（地域住民）が出来るおもてなしを検討している。今年度は、検討結果を踏まえて「カフェマップの発行」「カフェスタンプラリーの開催」「シーニックおもてなしブック（観光案内の虎の巻）の試行」「カフェオリジナルグッズの製作検討」「カフェ共通サインの製作検討」「カフェの目的と役割の検討（ルールづくり）」等を行った。今後の継続的な実施に向けた、活動資金の捻出と活動の裾野をいかに広げるかが課題である。

【日時】カフェは通年営業（一部冬期休業あり）、スタンプラリー実施（8/25-10/31）、カフェミーティングの実施（5/12 14:00-16:00、12/10 12:00-15:30）

【場所】シーニックカフェ（阿寒湖エリア：パン・デ・パン、ホテルレイクスパたかだ、弟子屈エリア：ホームスイートホーム、中標津エリア：カフェカイトウダイ、ジェラートシレット）カフェミーティング（5/12釧路圏摩周観光文化センター、12/10中標津町経済センター）

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ Clear Stream Scenic cafe推進プロジェクト、シーニックカフェ（パン・デ・パン、ホテルレイクスパたかだ、ホームスイートホーム、カフェカイトウダイ、ジェラートシレット）

【協力】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 情報広報部会

【活動団体名】弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、ボランティアネットワークチャレンジ隊

【参加人数】30人

【来場人数】8400人（カフェ利用者総計）



ジェラートシレット



カフェカイトウダイ



パン・デ・パン



シーニックカフェおもてなブック



カフェ共通のパンフレットラック



ホテルレイクスパたかだ



ホームスイートホーム



カフェミーティングの様子



スタンプラリーの様子



カフェマップ

ルートHPを活用した全国的一般ユーザーとの双方向交流

【概要】ルートで運営しているHPを活用し、全国的一般ユーザーとの双方向交流を図っている。情報を閲覧するだけでなく、交流が生まれるHPづくりをめざしている。31名の地域住民がライターとなり、それぞれが趣味や特技を活かした「旬の情報発信」を行っている（HPは、CGI形式を採用し、共同で更新できるシステム）。本年度はライターズミーティングを実施し、今後のHPづくりの方向性を検討した他、Yahoo!ブログ内にポータルブログを開設し、更なる全国的一般ユーザーとの交流を図った。（仕組みは下記概要を参照）、今後は、更なるライターの拡大とHPアクセス数増大に向けた検討を継続して行いたい。

【日時】通年（10月-1月ポータルブログによる試行実験、10/22ライターズミーティング）

【場所】<http://sbw.web-p.jp>、ライターズミーティング（10/22ニュー阿寒ホテル）

【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 情報広報部会

【活動団体名】ボランティアネットワークチャレンジ隊、NPO法人阿寒観光協会、クリーンウォーク実行委員会、（有）阿寒ネイチャーセンター
弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、中標津町商工会青年部

【協力】31名の地域住民（釧路湿原エリア12名・阿寒湖エリア6名・弟子屈エリア5名・中標津エリア8名）

【参加人数】31名 【来場者数】月平均6000アクセス

■31名の地域ライター（一部紹介）

釧路湿原エリア12名



阿寒湖エリア6名



弟子屈エリア5名



中標津エリア8名



■取組みの概要（一般ブログを活用したオペレーションの仕組み）

●3つのポータルブログ



①コミュニケーション

②アクセス

●全国的一般ユーザー

- ・現状では、一般ブログサイト利用者が対象
- ・ブログ訪問、相手ブログへのコメントなどを行い、コミュニケーションを図る
- ・やり取りの頻度と訪問回数から、一般ユーザーを3段階に区分できる

※ユーザー区分のイメージ



道東ウォーキングツーリズム推進活動

- 【概要】ルート内および周辺地域を対象に、ウォーキング愛好家を中心とするツーリズムの推進に向け、昨年度より継続した活動を実施している。今年は、中標津町内を対象としたウォーキングルートづくり、全道ウォーキングルート調査、ウォーキングイベントの企画・試行、サイン等ルート整備に関する調査、フットパス先進事例調査、2度の検討会（議題は下記参照）等を行った。
- 【日時】ウォーキングイベントの企画・試行（6/22 7:00-12:00シーニッククリーンウォークウォーク）、フットパス先進事例調査（7/27 9:00-12:00北根室ランチウェイフットパスツアー、10/25 13:00-18:00根室フットパスワークキャンプ）、検討会（第1回 2/9 19:00-21:00、第2回 2/20 19:00-21:00）
- 【場所】中標津町内（シーニッククリーンウォーク・北根室ランチウェイフットパスツアー、検討会）、根室市（根室フットパスワークキャンプ）
- 【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 中標津エリア 【活動団体】中標津町商工会青年部
- 【協力】情報広報部会
- 【参加人数】15人 【来場者数】30人（シーニッククリーンウォーク参加者）

◆主な調査内容



ウォーキングイベントの企画・試行
（シーニッククリーンウォーク）



根室フットパス整備ワークキャンプ



サイン類の調査



北根室ランチウェイ実地調査



根室フットパスヒアリング



ウォーキングルート調査

◆主な検討内容

【議題】

- ・ウォーキングルートの選定
- ・マップ編集会議
- ・オリジナルサインの検討
- ・観光モデルコースの検証
- ・情報発信について

サイン（案）



釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃

- 【概要】ルート内4つのエリアで実施している、春の清掃活動を連携・協力しながら実施した。候補ルート時代から実施視し、本年度で4年目となる活動であり、毎年の恒例行事として定着しつつある。弟子屈エリアと中標津エリアでは、ウォーキングイベントと絡め、一般の方が参加しやすいよう工夫した。釧路湿原エリアでは、釧路湿原の木道清掃を音探検を絡めたイベントを実施したが、利用者のマナーがよく、ゴミは見当たらなかった。今後は、より一般の方が参加しやすい仕組みづくり、その他清掃活動との連携を検討していきたい。
- 【日時】阿寒湖エリア 幸運の森商店街清掃（4/24 9:00-12:00）、弟子屈エリア 摩周湖クリーンウォーク（6/7 9:00-12:00）、中標津エリア シーニッククリーンウォーク（6/22 7:00-12:00）、釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃（6/29 9:00-13:00）
- 【場所】阿寒湖エリア 幸運の森商店街、弟子屈エリア 国道241号、243号、391号を含む弟子屈町内の沿道、中標津エリア 中標津市街地～開陽台展望台までの沿道、釧路湿原エリア 釧路町達古武オートキャンプ場内木道
- 【主催】釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ 景観まちづくり部会
- 【活動団体名】NPO法人阿寒観光協会、阿寒湖温泉連合町内会、（有）阿寒ネイチャーセンター、弟子屈町商工会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町自治会連合会、中標津町商工会青年部、（社）中標津町青年会議所、株式会社日専連中標津 青年会、ボランティアネットワークチャレンジ隊
- 【協力】弟子屈町、中標津町商工会 【参加人数】50人（清掃活動ルート参加者）
- 【来場者数】阿寒湖エリア50名、弟子屈エリア200名、中標津エリア30名、釧路湿原エリア52名



阿寒湖エリア 幸運の森商店街清掃



弟子屈エリア 摩周湖クリーンウォーク



中標津エリア シーニッククリーンウォーク

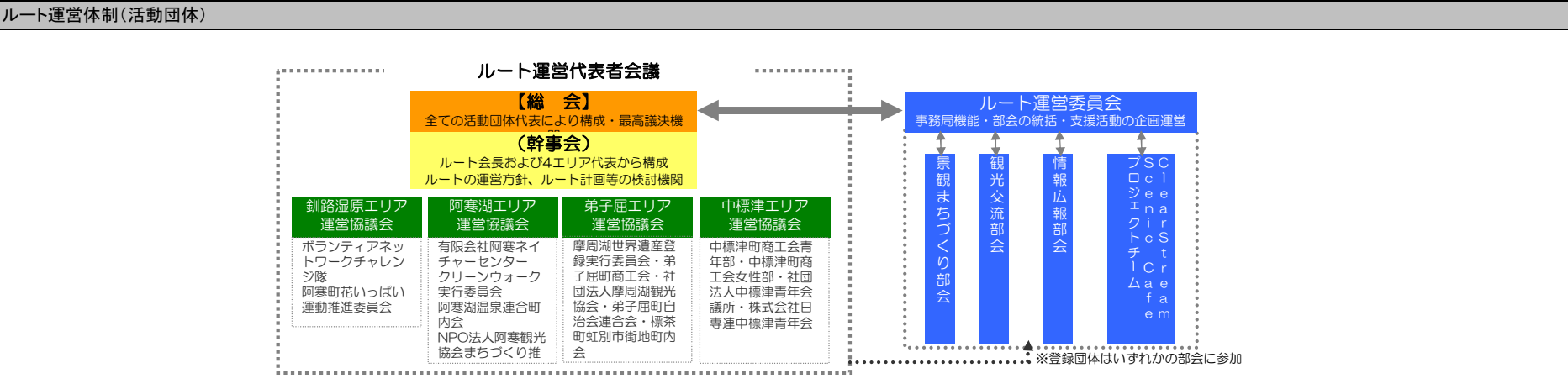


釧路湿原エリア 音探検&清掃

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄	報告年月: 2009/3/31
-----------------------------	-------------------------	-----------------

活動団体
釧路湿原エリア: ボランティアネットワークチャレンジ隊・阿寒町花いっぱい運動推進委員会 阿寒湖エリア: NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構、(有)阿寒ネイチャーセンター、クリーンウォーク実行委員会、阿寒湖温泉連合町内会 弟子屈エリア: 摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会、(社)摩周湖観光協会、弟子屈町自治会連合会、標茶町虹別市街町内会 中標津エリア: 中標津町商工会青年部、(社)中標津青年会議所、株式会社 日専連中標津青年会、中標津町商工会 女性部
＜全15団体＞



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議			●6/17 (総会)										年末と夏期の繁忙期を除き、コンスタントに幹事会・ルート運営委員会を開催した。また、実行委員会等も開催し、個別プロジェクトの推進を行った。次年度以降も継続した実施を行いたい。
	幹事会・運営委員会	●4/16	●5/21						●11/10	●12/15			●3/10	
	部会	●4/16 (3部会合同)	●5/21 (3部会合同)					●10/8 情報広報部会						
	実行委員会等		○5/12 カフェミーティング					○10/22 ライターズミーティング		○12/10 カフェミーティング		○エリア検討会 2/12釧路湿原エリア 2/19弟子屈エリア 2/20阿寒湖エリア 2/9・2/20中標津エリア		

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2009/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施			●6/17 (本会)										6月の本会のみの実施となった。次年度以降は、積極的な開催を行いたい。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ				報告者: 釧路開発建設部		報告年月: 2009/3/31			
ルート(エリア)運営活動計画方針		ルート(エリア)運営活動計画活動内容		平成20年度の活用内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
1 地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり ＜知る・活かす＞	1) 自然を知る・活かす(自然・景観・産業)	①まちを知る・人を知る	ルートHPを活用した全国の一般ユーザーとの双方向交流	通年	釧路開発建設部	・地域住民がライターとなり、情報発信しているHPに釧路開発建設部の3名がライター登録して、旬な情報を提供した ・各行政機関担当者にライター登録をお願いし、旬な情報を提供できる体制づくりが必要である	・既存植樹活動、清掃活動、シーニックカフェルト連携実施におけるカフェミーティング等に参加した。次年度以降は、さらに各行政機関の取り組みと連携した活動を行っていききたい。	5	
		②自然環境を知る・活かす	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	平成20年6月29日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部から8名が参加し、参加者と積極的な情報交換、交流を行った ・家族連れでの参加もあり、子供と一緒に自然環境を学べる良い機会であった		6	
			既存植樹活動への協力	平成20年5月17日、5月25日、5月28日	北海道、北海道森林管理局、中標津町、弟子屈町、釧路土木現業所、釧路開発建設部	・ルート内3エリアで実施された既存植樹活動への参加協力において、釧路開発建設部などが参加し、関係自治体と活動団体の情報交換を行った。		★2	
		③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	弟子屈滝探検・摩周岳登山	平成20年10月11日、10月19日	釧路開発建設部	・新たなビューポイント発掘、地域の新たな魅力発掘のために実施された活動に、釧路開発建設部から2名が参加し、ビューポイント等に関する意見交換が行った		★8	
		④温泉を知る・活かす	-	-	-	-		-	
		⑤体験活動を知る・活かす	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	平成20年6月29日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部から8名が参加し、参加者と積極的な情報交換、交流を行った ・家族連れでの参加もあり、子供と一緒に自然環境を学べる良い機会であった		6	

ルート(エリア)運営活動計画方針		ルート(エリア)運営活動計画活動内容	平成20年度の活用内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
1 地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり <知る・活かす>	2)食を知る・活かす	①地場産品を知る・伝える	シーニックカフェールート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	カフェ営業:通年(一部冬期休業)、スタンブラリー実施:8月25日~10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタップミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った		1
		②新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	-	-	-	-		-
	3)文化や自然を知る・活かす	①地域の各種文化を知る・活かす	-	-	-	-		-
		②地域の歴史を知る・活かす	-	-	-	-		-
2 個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり <整える・つなぐ>	1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	①沿道景観を整える	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「阿寒湖エリア・幸運の森商店街清掃」	平成20年4月24日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部から2名が参加し、活動団体と意見交換を行いながら、清掃活動を実施した	・釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃、検討会やミーティング等の参加 ・標茶町花フェスタでは、標茶町と連携し、桐木会長が町内で沿道景観づくりを行う町民を対象に、シーニックについて講演を行った。 ・釧路湿原エリア検討会(モデルルート検討)では、釧路市からの参加者を交え、活発な意見交換を実施した。 ・非诚勿扰ロケ地マップの企画制作も行っている。 ・次年度以降も、他の行政機関と連携をとりながら、実施したい。	6
			釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「弟子屈リア 摩周湖クリーンウォーク2008」	平成20年6月7日	弟子屈町、釧路開発建設部	・弟子屈町主催のクリーンウォークに釧路開発建設部から10名が参加し、弟子屈町職員や活動団体と意見交換を行いながら、清掃活動を実施した		6
			釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃・道東ウォーキングツーリズム推進検討「中標津エリア シーニッククリーンウォーク」	平成20年6月22日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部から4名が参加し、活動団体と意見交換を行いながら、清掃活動を実施した		6
			釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	平成20年6月29日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部から8名が参加し、参加者と積極的な情報交換、交流を行った ・家族連れでの参加もあり、子供と一緒に自然環境を学べる良い機会であった		6
			シーニックカフェールート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)-沿道景観に配慮した「花と緑のサイン」の製作	カフェミーティング実施:5/12、12/10	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタップミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、景観に配慮したサインに関する積極的な意見交換を行った		1

ルート(エリア)運営活動計画方針		ルート(エリア)運営活動計画活動内容	平成20年度の活用内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
2 個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり ＜整える・つなぐ＞	1)地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	①沿道景観を整える	標茶町花フェスタ2008	平成20年8月3日	標茶町	・標茶町役場と連携して、ルート運営代表者会議桐木会長がシーニックに関する講演を行った ・シーニックに関する交流だけではなく、花植えに関する意見交換も積極的に行われた ・今後も活動団体と連携した取り組みを行いたい		
		②物語のあるみちをつくる	-	-	-	-		-
	2)観光客を受け入れる環境を整える	①おもてなしの質を整える	-	-	-	-		-
		②既存施設の質を整える	シーニックカフェールート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	カフェ営業:通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施:8月25日~10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタンプミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った		1
	3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	シーニックカフェールート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	カフェ営業:通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施:8月25日~10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタンプミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った		1
			-	-	-			
		②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	シーニックカフェールート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	カフェ営業:通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施:8月25日~10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタンプミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った		1
			釧路湿原エリア検討会(モデルルート検討)	平成21年2月12日	釧路市、釧路開発建設部	・釧路市、釧路開発建設部が参加 ・釧路湿原エリア内での滞在ルートについて、活発な意見交換を行った		★13
			弟子屈エリア検討会(モデルルート検討)	平成21年2月19日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部が参加 ・釧路湿原エリア内での滞在ルートについて、活発な意見交換を行った		★14

ルート(エリア)運営活動計画方針		ルート(エリア)運営活動計画活動内容	平成20年度の活用内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
2 個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり ＜整える・つなぐ＞	3)地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	阿寒湖エリア検討会(モデルルート検討)	平成21年2月20日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部が参加 ・阿寒湖エリア内での滞在ルートについて、活発な意見交換を行った		★15
			中標津エリア検討会(モデルルート検討)	平成21年2月9日・20日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部が参加 ・中標津エリア内での滞在ルートについて、活発な意見交換を行った		★16
	4)各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供	ルートHPを活用した全国の一般ユーザーとの双方向交流	通年	釧路開発建設部	・地域住民がライターとなり、情報発信しているHPに釧路開発建設部の3名がライター登録して、旬な情報を提供した ・各行政機関担当者にライター登録をお願いし、旬な情報を提供できる体制づくりが必要である		5
			魅力発見釧路観光情報センターへのパネル・パンフレットの展示	平成20年7月1日～7月31日	釧路市	・釧路市と連携して、制度説明パネルの展示とパンフレットの提供を行った ・今後もこのような機会においてのPRは、必要不可欠であり、実施していきたい		
			非诚勿扰ロケ地マップの企画製作	平成20年3月～	釧路市、釧路開発建設部	・釧路市、釧路開発建設部、東オホーツクシーニックバイウエイルートが連携を図り、企画制作を行っている。 ・非诚勿扰は、中国本土で大ヒットした正月映画であり、今後の観光客への情報提供を想定し企画を行っている。		★22
		②観光案内施設等による情報提供	シーニックカフェルト連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	カフェ営業:通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施:8月25日～10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタンプミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った		
		③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	ルートHPを活用した全国の一般ユーザーとの双方向交流	通年	釧路開発建設部	・地域住民がライターとなり、情報発信しているHPに釧路開発建設部の3名がライター登録して、旬な情報を提供した ・各行政機関担当者にライター登録をお願いし、旬な情報を提供できる体制づくりが必要である		5

ルート(エリア)運営活動計画方針		ルート(エリア)運営活動計画活動内容	平成20年度の活用内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
3 地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり ＜創る・育てる＞	1) 自然と共に生きる意識を育てる	①地域(こども達)への環境教育	釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃「釧路湿原エリア 釧路湿原音探検&清掃」	平成20年6月29日	釧路開発建設部	・釧路開発建設部から8名が参加し、参加者と積極的な情報交換、交流を行った ・家族連れでの参加もあり、子供と一緒に自然環境を学べる良い機会であった	・既存植樹活動、清掃活動。 シーニックカフェールート連携実施におけるカフェミーティング等の参加した ・次年度以降は、他の行政機関も参加しやすい仕組みを整えるとともに、呼びかけなども積極的に行って行きたい。	6
		②来訪者(観光客)へのインタプリテーション	-	-	-	-		-
	2) 自然を保全・活用する仕組みを創る	①自然を守るルールをつくる	-	-	-	-		-
		②自然を保護・育成する仕組みをつくる	既存植樹活動への協力	平成20年5月17日、5月25日、5月28日	北海道、北海道森林管理局、中標津町、弟子屈町、釧路土木現業所、釧路開発建設部	・ルート内3エリアで実施された既存植樹活動への参加協力において、釧路開発建設部などが参加し、関係自治体と活動団体の情報交換を行った。		★2
	3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	シーニックカフェールート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	カフェ営業:通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施:8月25日~10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタンプミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った		1
		②地域経済循環の仕組みを創る	ルートHPを活用した全国の一一般ユーザーとの双方向交流	通年	釧路開発建設部	・地域住民がライターとなり、情報発信しているHPに釧路開発建設部の3名がライター登録して、旬な情報を提供した ・各行政機関担当者にライター登録をお願いし、旬な情報を提供できる体制づくりが必要である		5
			シーニックカフェールート連携実施(地域のおもてなし拠点づくり)	カフェ営業:通年(一部冬期休業)、スタンプラリー実施:8月25日~10月31日、カフェミーティング実施:5月12日、12月10日	釧路開発建設部	・活動内で実施された、シーニックカフェスタンプミーティングに、釧路開発建設部から3名が参加し、積極的な意見交換を行った		1

※表中“★”はH20新規活動

5. 平成19年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄	報告年月: 2009/3/31
-----------------------------	-------------------------	-----------------

平成19年度活動報告への助言	平成20年度 状況報告	備考
・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。	○地域へのルート活動の浸透について ルートHPでは、30名の地域住民がライターとなり、自分の職域や趣味を活かした情報を更新している。HP上で、全国の一般HPユーザー（閲覧者）との交流を生まれ、情報交換が行われていることから、微力ながら浸透されつつあると考えている。また、毎年実施している、釧路湿原・阿寒・摩周・中標津リレー清掃では、釧路湿原エリア・弟子屈エリア・中標津エリアでは、地域住民が参加しやすい様に、イベント的に清掃活動を実施し、地域住民への周知を兼ねた活動となっている。 だが、ルート活動の浸透は、まだまだであると実感している。次年度以降は、実績をつくり、地域住民の目に触れるように努力したい。 ○人材育成の取組について ルート内5店舗に設置しているシーニックカフェ（既存店舗を利用）では、定期的にシーニックカフェミーティングを開催し、ルート運営委員だけではなく、カフェで働く若手スタッフと一緒に、観光客に対するおもてなしについて、検討を続けている。本年度は、カフェスタッフの意見を反映させて、「シーニックおもてなしブック（観光案内の虎の巻）」の製作試行や景観に配慮したシーニックカフェオリジナルのサイン「花と緑のサイン」の製作検討、オリジナルグッズの製作検討、シーニックカフェスタンプラリーの実施、PRマップの発行などを行った。前述した、「シーニックおもてなしブック」は、観光客に対する案内向上の目的だけではなく、新人スタッフの教育にも活かされており、微力ながら、人材育成の取組みは行われていると感じる。	

ルート名称: 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者: 釧路開発建設部	報告年月: 2009/3/31
-----------------------------	--------------	-----------------

平成19年度活動報告への助言	平成20年度 状況報告	備考
・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。	○地域へのルート活動の更なる浸透について 職員も地域住民としてルートHPのライターに登録し、様々な情報交換を行っている。また、ルート活動に参加し、常に新しい地域情報を把握し、新しいルート活動を検討している。 共通認識を持った取り組みを実施するために4市町村が合同で補助金申請を行い、地域が目指している物の共通認識を深め、連携できる体制を築いた。 ○人材育成の取組みの充実について 異動等で人が変わるときに、新任者だけでなく、前任者も活動に引き込み、活動の継続性及び活動への理解度を深めている。	